



Title	語文 第18輯 編輯後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文, 18
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68506">https://hdl.handle.net/11094/68506</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編輯後記

ちかごろ校本とか大成といふ類の大作が相  
ついで刊行され、学界の受ける恩恵は測り知  
れないものがある。かういふ種類の仕事は著  
者の永年の労苦が整理されてゐて、それだけ  
後進の労苦を省いてくれる点でまことに有難  
い。それらの大作が、外観のいかめしさと共  
に、ゆるぎのない評価をうけてゆくことはま  
ことに慶賀すべきことだ。

× ×  
これと対称的なのは雑誌論文だ。雑誌の片  
隅でキラリと光る行文にひかれて読んでみる  
と、思ひがけぬ着想の奇抜さ、思想の深さ。  
鋭い考へ方によってありふれた資料が生きて  
躍ってゐる様だ。皇ちがひの事ではあつても  
胸がすく。まして同じ専門のことでもある場  
合には頭が下る。かやうな着想を回転軸にし  
て飛躍的に学問が進むことがある。

× ×  
大著の外観に眩惑されて、とかく小論文の  
価値が見落れさるといふことはないであらう  
か。しかしこれも無理ならぬ点がある。価値

のある論文は常に一定の雑誌に載るとは限ら  
ない。むしろあれこれの雑著から拾ひ出さぬ  
ばならぬものである。

投稿規定

- 直接購読者は投稿することができる。
- 原稿の内容は国語・国文学、国語教  
育に関するものであること。分量は四  
百字詰原稿用紙二十枚以内とする。
- 原稿の送り先は「豊中市柴原、大阪  
大学文学部国文学研究室内、語文編輯  
委員」宛。
- 原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
- 採用しなかつた原稿は返送料が添附  
してあれば返送に応ずる。
- 一括購読者が投稿する際には代表者  
から紹介せられたい。
- ◆雑誌の寄贈・交換について  
○雑誌の寄贈・交換は大阪府豊中市柴  
原大阪大学文学部 国文学研究室宛に  
願いたい。
- ◆購読について  
○購読希望者は発行所宛前金を添えて  
申込むこと。(送金は振替を利用され  
たい)
- 一部 五十円 送料八円  
一年分(四回分) 二百円(送料共)

